

総合評価方式・探究型の出題例をご覧くださいにあたって

総合評価方式・探究型について

高校で取り組まれている「探究学習」のように、自分で「問い」を立て、その問いに対する答えを導き出すためには、どのようなデータを集めたり調査をしたりする必要があるかということについて答える試験です。

●解答方法 ▶ タイピング式か、解答用紙への記述式かを出願時に選択します。

タイピング式

画面に表示される試験問題についてPCで直接解答を入力します。



解答のポイント ▶▶



<https://r.apu.jp/point/typing>

記述式

画面に表示される試験問題について解答用紙を使って手書きで解答を記入します。



解答のポイント ▶▶



<https://r.apu.jp/point/kijyutu>

タイピング式の解答欄

●設問は1～4まであり、解答欄に書かれています。

下記は、記述式の解答欄を例に示しています。問題を解く際の参考にしてください。

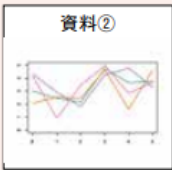
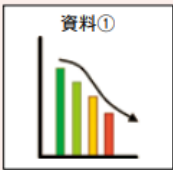
タイピング式の解答欄は[こちら](#)をご参照ください。



1

「問い」を立てる

最初に複数の資料(下記のように文章や図表、写真等を提示しますが、試験回により資料数や種類は変わります)を関連付けて、自分なりの「問い」を立てます。



資料⑤

過年度の出題例 ▶▶ 3ページ以降の資料<1>～<5>をご参照ください。

記述式の解答欄

設問

1. 与えられた資料から、自分なりの「問い」を異なる視点から3つ列挙しなさい。その際、2つ以上の資料を関連付け、「関連付けた資料番号」欄に○印を付けること。その上で、本試験で取り組む「問い」を1つ選び、「選択」欄に○印を付けなさい。

	関連付けた資料番号					問い	選択
	1	2	3	4	5		
①							
②							
③							

2

「問い」の社会的意義を考える

上記で設定した「問い」の答えを導き出すことが、どのように社会に役に立つと思われるのか、また社会的にどのような価値があるのかを考えてください。

設問

2.上記1. で当該の「問い」を選択した理由(選択した「問い」のもつ意義や社会的価値等)を書きなさい。
<200字以内>



3

「問い」に対する自分なりの答えを考える

設定した「問い」に対して、自分なりの答えを記述してください。

設問

3.上記1. で選択した「問い」に対する「自分なりの答え(仮説)」を書きなさい。

--

4

どのようなデータを集めたり調査をしたりする必要があるかを考える

あなたの答えを証明するために、どのようなデータや調査結果が必要であることを具体的に記述してください。またそのようなデータや調査結果を得るためには、具体的にどのような実験や調査を行う必要があるかを記述してください。

設問

4. (1)「自分なりの答え(仮説)」を証明するために、どのようなデータや調査結果等が必要であることをできるかぎり具体的に書きなさい。その際、複数のデータや調査結果等が必要な場合は、すべて書き出さない。

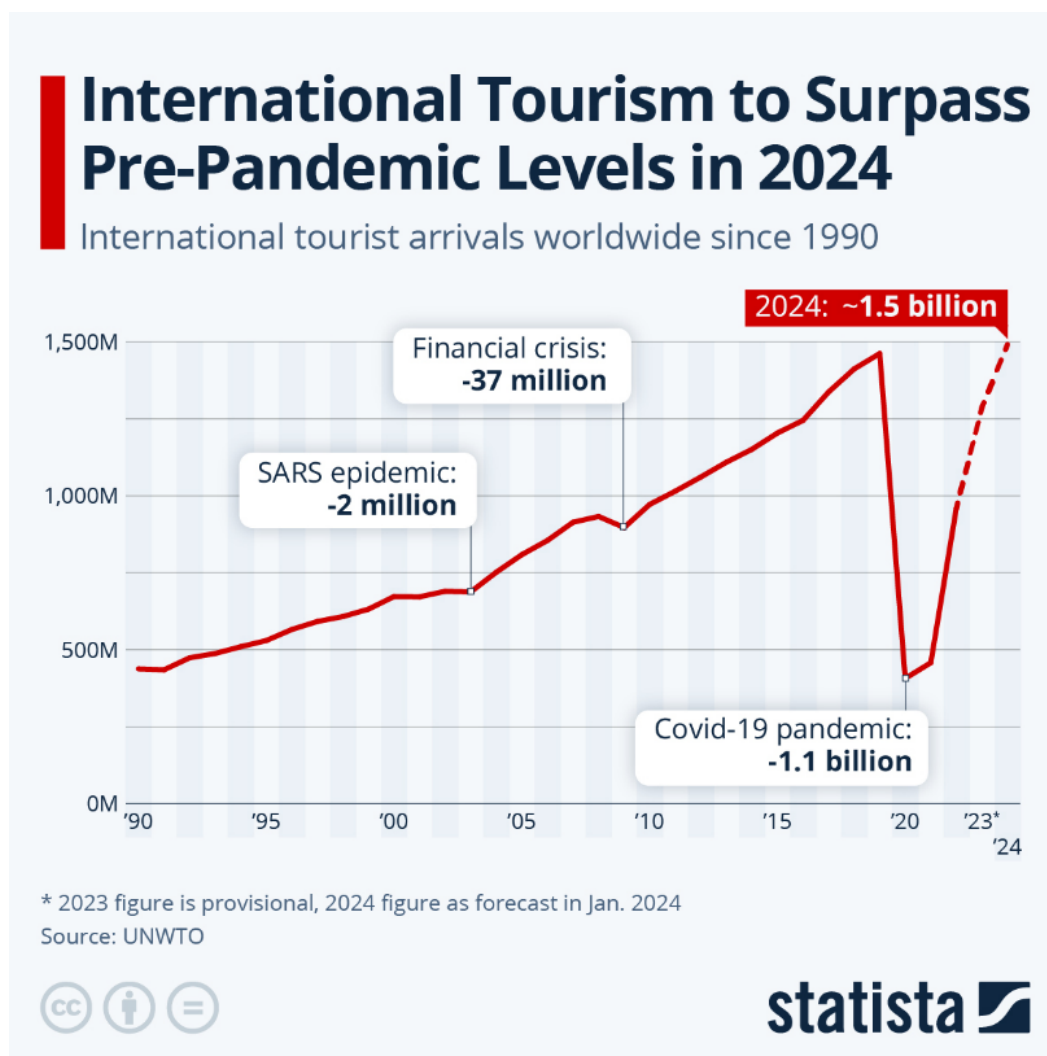
(1)	

4. (2) 上記(1)のデータや調査結果等を得るために、どのような実験や調査等を行う必要があるかをできるかぎり具体的に書きなさい。その際、複数の実験や調査等が必要な場合は、すべて書き出さない。

(2)	

次ページ以降は、過年度の総合評価方式・探究型の試験において示された5つの資料です。上記の設問1～4を見ながら、自分なりの答えを考えてみましょう。

< 資料 1 >



Destination Ranking by Size

Destination Country	2023/2019	2023/2022
U.S.A	-24%	20%
Spain	-14%	18%
United Kingdom	-20%	28%
Italy	-18%	27%
Japan	-31%	569%
France	-18%	14%
Mexico	3%	0%
Germany	-32%	20%
Canada	-16%	27%
Türkiye	-9%	-15%

Origin Ranking by Size

Destination Country	2023/2019	2023/2022
U.S.A	-1%	17%
Germany	-21%	18%
United Kingdom	-20%	12%
Canada	-5%	22%
France	-17%	4%
South Korea	-28%	241%
China	67%	8219%
Japan	-53%	219%
Spain	-13%	15%
Italy	-24%	24%

(Source: UNTWO, International Tourism to Surpass Pre-Pandemic Levels in 2024

<https://www.statista.com/chart/21793/international-tourist-arrivals-worldwide/>)

(Source: Forward Keys, Destination rankings of summer 2023 reveal 5 major travel trends

<https://forwardkeys.com/destination-rankings-of-summer-2023-reveal-5-major-travel-trends/#>)

<資料 2>

訪日外国人消費動向調査 2023年調査結果の概要

■ 2023年 訪日外国人旅行消費額 5兆3,065億円

- 2023年の訪日外国人旅行消費額は総額で5兆3,065億円と推計される。
- 訪日外国人旅行消費額を費目別にみると、宿泊費が34.6%、買物代が26.5%、飲食費が22.5%を占める。

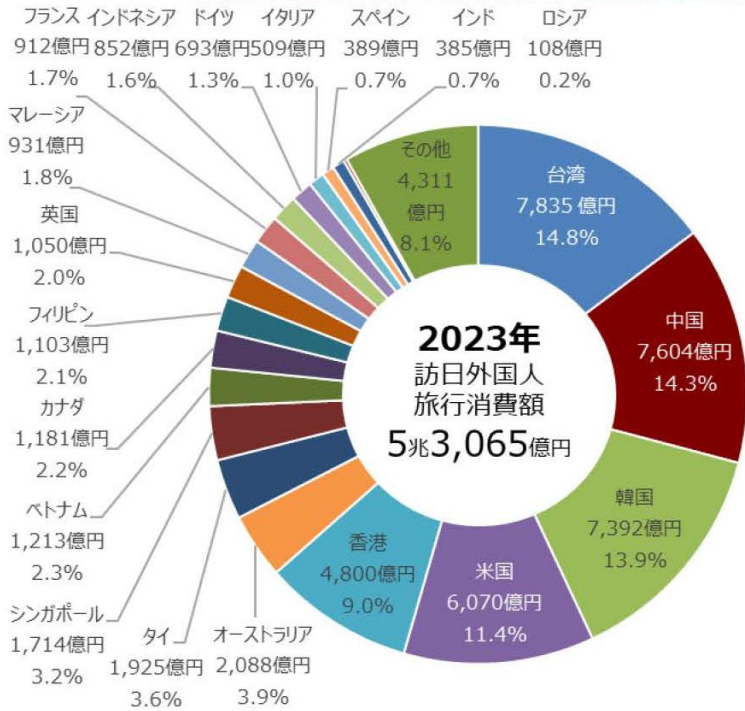
【図表】訪日外国人旅行消費額の費目別構成比



■ 旅行消費額の多い国・地域 ①台湾 ②中国 ③韓国

- 国籍・地域別では、①台湾 ②中国 ③韓国 ④米国 ⑤香港の順で旅行消費額が多い。
- 上位5カ国・地域で、訪日外国人旅行消費額全体の63.5%を占める。

【図表】国籍・地域別にみる訪日外国人旅行消費額と構成比



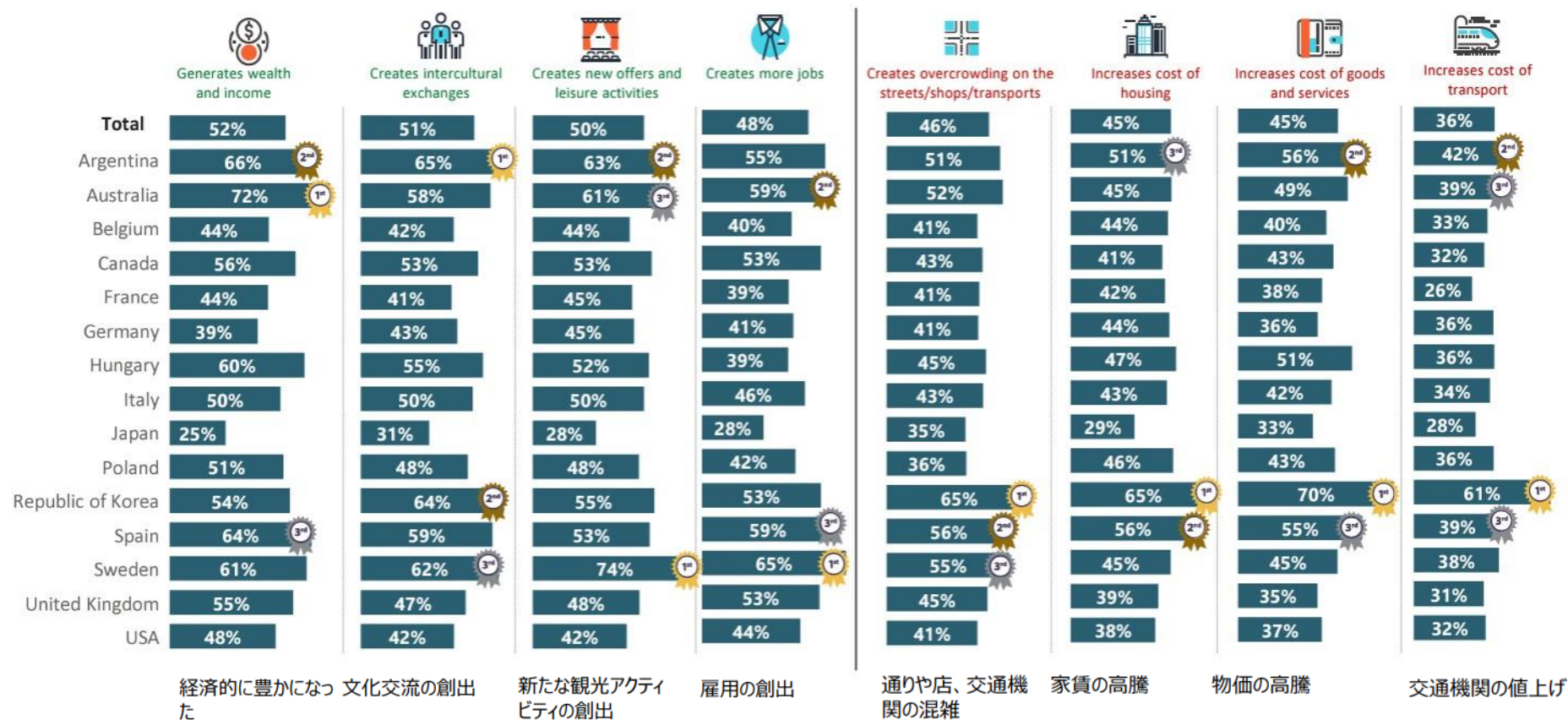
- ・ 訪日外国人（クルーズ客を含む）が日本滞在中に支払った旅行中支出に、パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分を推計して加算している（クルーズ客は旅行中支出のみ計上）。日本の航空会社や船舶会社に支払われる国際旅客運賃は含まれない。
- ・ 「訪日外国人」には、観光・レジャー目的に加え、業務目的や親族・知人訪問目的などで日本を訪れた外国人が含まれる。日本に居住している外国人は含まれない。
- ・ ロシアは、従来に比べて入国者数が少なく十分な回答数が確保できていないことから、標準誤差率が大いため、留意されたい。

<資料 3>

Q2. How does tourism impact your city? (by country)



観光があなたの住む街にどういった影響を与えているか？



(Source: UNWTO, IPSOS, 2019, Global survey on the perception of residents towards city tourism: impact and measures)

<資料 4>

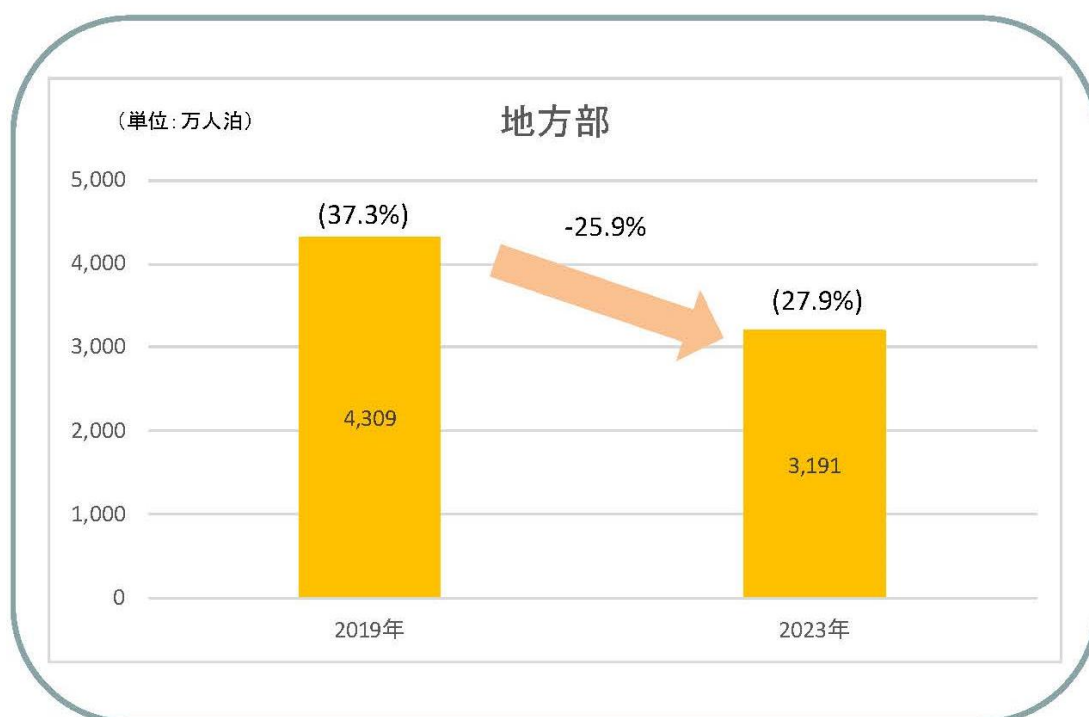
都道府県別外国人延べ宿泊者数（2023 年）と 2019 年比及び前年比

（単位：人泊）

施設所在地	延べ宿泊者数	2019年比	前年比
全国	114,336,090	-1.1%	+592.8%
北海道	6,775,200	-23.1%	+690.4%
青森県	271,020	-24.0%	+723.0%
岩手県	271,380	-21.1%	+958.4%
宮城県	518,330	-7.9%	+689.9%
秋田県	95,460	-31.5%	+486.4%
山形県	166,930	-28.7%	+544.5%
福島県	220,220	+2.6%	+474.2%
茨城県	183,460	-15.6%	+231.2%
栃木県	452,750	+27.6%	+592.7%
群馬県	239,910	-18.0%	+414.1%
埼玉県	181,980	-17.1%	+218.7%
千葉県	3,241,150	-32.5%	+280.6%
東京都	42,727,680	+45.6%	+530.6%
神奈川県	2,665,810	-17.9%	+423.6%
新潟県	348,340	-27.5%	+298.3%
富山県	212,550	-40.6%	+410.2%
石川県	1,034,530	+5.1%	+1086.3%
福井県	63,830	-34.7%	+412.3%
山梨県	1,325,830	-35.5%	+693.0%
長野県	1,417,120	-10.2%	+687.7%
岐阜県	1,108,050	-33.3%	+811.7%
静岡県	1,027,640	-58.8%	+501.1%
愛知県	1,984,390	-45.4%	+479.4%
三重県	194,300	-50.0%	+298.6%
滋賀県	250,190	-41.0%	+509.3%
京都府	12,119,590	+0.8%	+757.5%
大阪府	18,480,840	+3.1%	+767.8%
兵庫県	1,024,830	-25.0%	+715.6%
奈良県	305,030	-43.0%	+863.5%
和歌山県	494,300	-24.9%	+569.8%
鳥取県	72,800	-60.6%	+487.6%
島根県	51,940	-50.1%	+375.6%
岡山県	328,030	-32.6%	+454.8%
広島県	1,292,470	-2.3%	+806.7%
山口県	88,630	-15.1%	+82.4%
徳島県	129,340	-3.2%	+613.0%
香川県	444,470	-42.4%	+1210.0%
愛媛県	200,950	-7.1%	+501.3%
高知県	129,480	+35.8%	+1209.2%
福岡県	4,737,990	+11.2%	+681.3%
佐賀県	150,340	-58.2%	+633.7%
長崎県	461,970	-38.7%	+384.6%
熊本県	961,870	+2.9%	+860.3%
大分県	1,281,000	+6.2%	+655.2%
宮崎県	116,270	-64.4%	+396.2%
鹿児島県	337,770	-59.8%	+787.2%
沖縄県	4,148,110	-46.5%	+611.6%

※ 2019年比及び前年比は、確定値との比較である。

三大都市圏及び地方部における外国人延べ宿泊者数比較

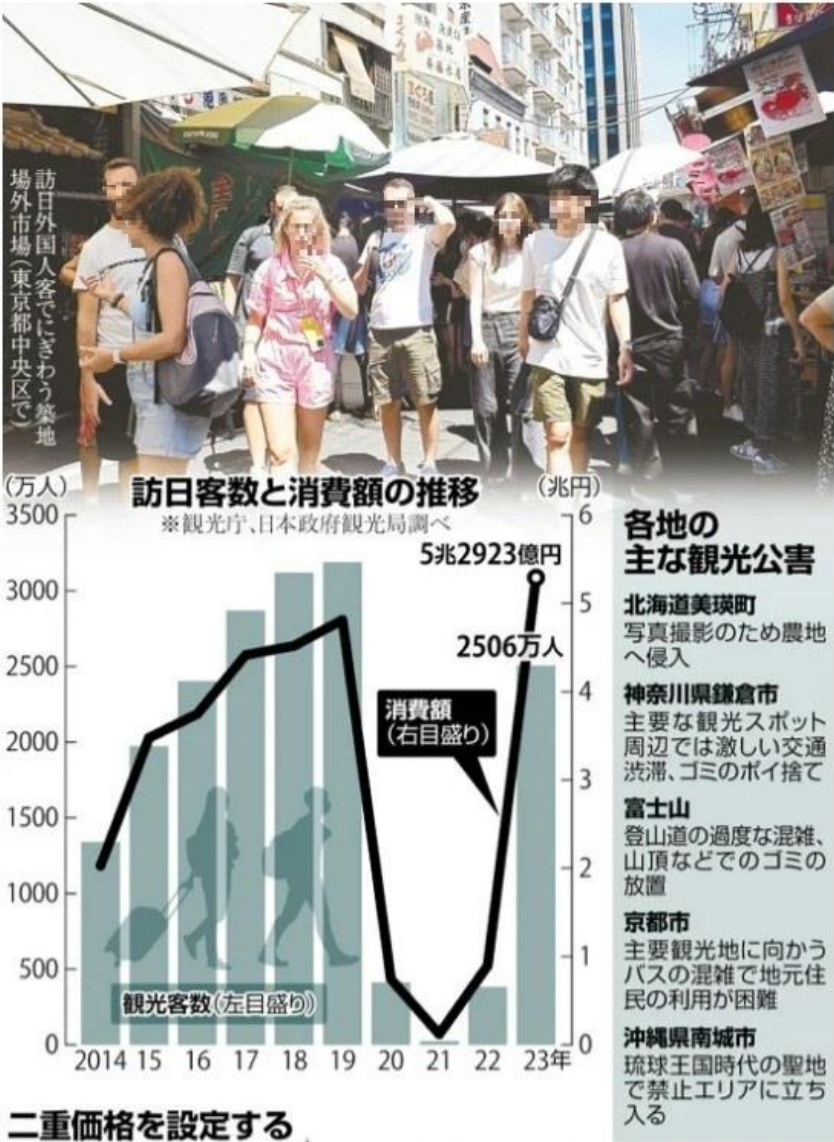


※ () 内は構成比を表している。

<資料 5>

外国人観光客向けに二重価格、「おもてなし日本」での導入に賛否

2024/09/20 15:54



二重価格を設定する
主な海外の事例

入場料や入園料など	
 タージ・マハル (インド)	国民=50ルピー(約100円) 外国人=1100ルピー(約2000円)
 ギザのピラミッド (エジプト)	国民・アラブ人=60エジプト・ポンド(約200円) 外国人=540エジプト・ポンド(約1600円)
ルーブル美術館(フランス)	26歳未満のEU圏在住者ら=無料 通常=22ユーロ(約3500円)
メトロポリタン美術館 (米国)	ニューヨーク州在住者ら=任意の金額 通常=30ドル(約4300円)
ダイヤモンドヘッド 州立自然記念公園(米国)	ハワイ州在住者=無料 通常=5ドル(約700円)

※各施設のホームページを基に作成

受験番号	12345678	氏 名	立命館 花子
------	----------	-----	--------

総合評価方式・探究型 模範解答例

※下記は、模範解答であり、本試験の解答は一つではありません。

1. 与えられた資料から、自分なりの「問い」を異なる視点から3つ列挙しなさい。その際、2つ以上の資料を関連付け、「関連付けた資料番号」欄に○印を付けること。その上で、本試験で取り組む「問い」を1つ選び、「選択」欄に○印を付けなさい。

	関連付けた資料番号					問い	選択
	1	2	3	4	5		
①	○	○		○		2023 年の旅行者は、コロナ禍以前の水準までに回復の兆しを見せたが、旅行者の目的や志向に変化はあったか。	
②			○		○	外国で導入されている二重価格を日本で導入することに賛否がある理由は何か。	
③		○	○	○		都市部に比べて地方の観光客数は回復が遅れているようにも見えるが、観光客を地方に呼び込むことで地方創生、地域活性化につなげることはできるか。	○

2. 上記 1. で当該の「問い」を選択した理由（選択した「問い」のもつ意義や社会的価値等）を書きなさい。＜200 字以内＞

観光における社会的意義として、地域経済の活性化と雇用創出の促進が挙げられる一方で、単に観光客を増やすだけでは、オーバーツーリズムや文化的遺産、自然環境を壊すといった問題にも繋がりがかねない。文化的遺産や自然を守りつつ、地域住民と観光客が共生し、持続可能な観光を目指すことによって、ユニバーサルデザインの導入や多言語対応が進むなど、誰一人取り残さない社会づくりや経済成長に貢献することができると考えた。
--

3. 上記 1. で選択した「問い」に対する「自分なりの答え（仮説）」を書きなさい。

海外からの観光客は今までの日本人観光客にプラスした収益の獲得のチャンスである。チャンスを活かすためには新たな雇用が必要であり、施設等の整備を行う必要も出てくる。そのようになれば街全体に活気が生まれ、地方の活性化に繋がっていくことが期待される。一方で、観光マナーや文化の違いなどを原因として地域住民との間に問題が発生したり、新しい変化に対応が困難な地域が存在したりすることが想定される。現在の自然や文化を守りつつ、どのように対応をしていくかを一丸となって考えることで、持続可能な社会へと繋げることができると考える。
--

4. (1) 「自分なりの答え（仮説）」を証明するために、どの様なデータや調査結果等が必要であるか、収集方法も含めできるかぎり具体的に書きなさい。その際、複数のデータや調査結果等が必要な場合は、すべて書き出しなさい。

(1)	①観光客や宿泊者が増加している地域への交通アクセス時間。外国人が旅行先を決める際に重視している項目。
	②各都道府県の失業率と所得収入の経年データ。交通インフラや Wi-Fi などのインターネットの普及状況。
	③地域住民の意識調査（観光客が増えたことにより生活が豊かになったと感じているか、新たに発生した課題など）
	④上記③について、都道府県による違いはあるか。
	オーバーツーリズム等の観光によって生じる問題への取り組みや観光地の分散化など外国における成功事例を調査する。

4. (2) 上記 (1) のデータや調査結果等を得るために、どの様な実験や調査等を行う必要があるかをできるかぎり具体的に書きなさい。その際、複数の実験や調査等が必要な場合は、すべて書き出しなさい。

(2)	(旅行者向け) 来日に関する情報収集方法及び目的地の決定理由に関するアンケート調査やヒアリング調査
	(旅行者向け) 旅行の満足点・不満点及び再来日の意向に関するアンケート調査。広く収集するためにインターネットを活用して実施。
	(事業者向け) 雇用状況及び新たな業種を含む起業状況の調査。国の統計データ等を活用する。
	(地域向け) 観光客増加による影響及びイメージに関するアンケート調査
	先進地域における対応方法による成功例・失敗例の調査、インターネットで情報を収集し、参考になり得る事例については、関係者に連絡をとり、オンラインシステムなども活用しながら、ヒアリングを行う。